

グリーン市民ネットワーク高知 設立趣意書

今回の大規模な原発震災は世界中に大きな衝撃を与え、世界の国々は自国の原子力政策を大きく方向転換し始めました。

そんな中、被災地である日本の原発がまだまだ変わらず稼働し続けることに、私たちは大きな恐れと疑問を持っています。今回の福島原発の深刻な事故は、事故をおこした原発が、どれほど広範囲にわたる放射能汚染をもたらし、どれほど多数の被曝者を生みだすかを、目の当たりにさせ、原子力を発電に用いることの誤りを思い知らせるものとなりました。

さらに原発は、核のゴミ（死の灰）を常に生みだし、子々孫々まで危険を押しつけることとなります。

今、伊方原発を止めても、ピーク時に一時的な電力消費を抑制する対策を取り、通常時に過剰な電力消費の節電を行うだけで、火力・水力の余剰電気容量で四国の電力をまかなうことができます。また日本列島は自然に恵まれ、太陽光・熱、風力、地熱、小水力、バイオマスなど自然エネルギーが活用を待っています。また分散型エネルギーを広めていける燃料電池もすでに実用化しています。これまでの原子力に頼る政策を変えることにより、短期的には化石燃料に依存せざるを得ないにしても、将来的にはこれらの自然エネルギーへとシフトすることは十分に可能です。今後暮らしを見直し、省エネを促進し、無駄な電気を節約すれば、日本中で必要とする電力を自然エネルギーなどによる発電で十分に賄うことができます。

そこで、今回私たちは、既に高知県内で活動を続けてきた個人・団体・グループの力と新たな人々の力を結集させ、危険な核由来のエネルギー（原子力）に頼らない自然エネルギーを主体とした社会を実現するべく、グリーン市民ネットワーク高知を設立することとしました。多くの方々の賛同と参加を期待します。

2011年4月23日

グリーン市民ネットワーク高知

発起人（あいうえお順）：井上正雄、上野伊佐子、植村和暢、植村厚子、大利賢一郎、岡田充弘、岸本ともこ、北村彰子、木田正博、小松しぶき、外京ゆり、下司孝之、五島保子、坂本恭子、田辺浩三、谷川 徹、野村 恵、原崎道彦、平林 稔、前田侑里、松本和子、丸井一郎、丸井美恵子、溝渕卓生、宮崎 朝子、矢田 修、横田日出子
(以上 27名)

事務局：〒780-8072 高知市曙町 1-39-12 TEL 088-844-2101

ホームページ：<http://www.green-citizens.net/>

グリーン市民ネットワーク高知 入会申込書

2011年 月 日

会の趣旨に賛同し、入会します。

氏名：_____ (所属団体・グループ：_____)

住所：_____

電話：(_____) _____ 携帯電話：_____

PCメールアドレス：_____

※メールリングリストの参加申し込み：(_____) 希望 (_____) 希望しない

PCがない場合：FAX あるいは携帯メール：_____

年会費（入会金なし）：1 □ 500円 (_____) □ (_____) 円

※メールリングリストに加入すると常に情報の受信ができ、会員相互の発信が可能となります。